

9・10・11月の展示会予定

第67回 九州山口薬学大会
付設薬科機器展示会

- 平成16年9月19日(日)・20日(月)
- 佐賀市文化会館
佐賀市日の出1-21-10
- 主催：(社)佐賀県薬剤師会

第14回 日本医療薬学会年会
付設薬科機器展示会

- 平成16年10月16日(土)・17日(日)
- 幕張メッセ 国際展示場 8
千葉市美浜区中瀬2-1
- 主催：日本医療薬学会

第43回 日本薬学会 日本病院薬剤師会
中国四国支部学術大会 付設薬科機器展示会

- 平成16年11月6日(土)・7日(日)
- くにびきメッセ(島根県産業交流会館)
島根県松江市学園南1-2-1
- 主催：日本薬科機器協会

展示予定内容

本号で紹介いたしました
**岐阜大学医学部附属病院
製剤室/調乳室 導入実績**

★映像とパネル展示でより詳しく紹介します

- ・サーパスチーマー AVP-50型
- ・ミニフィーラー ZMF-NT型
- ・ミニミキサー E型
- ・真空包装機 SQ-202型
- ・分注機 DR-NT型
- ・ステリバッグ
- ・ステリアンブル/バイアル
- ・ステリパウチ/パウチャー
- ・ステリチューブ
- ・その他各種消耗品

より多くのお客様に三田理化工業(株)のソリューション実績をお確かめいただき、お客様の課題について、その解決方法を一緒に考えてまいりたいと考えております。

下記項目にご記入の上、FAXにてご返送ください。

三田理化工業(株)の、どのソリューション実績に関心をお持ちですか？

- 医師の投薬オーダーに合った適正な製剤ができるようになった。
- 電子的に検証された製剤ができるようになった。
- フットスイッチの採用により、コンピュータを操作しながら薬剤調合ができるようになった。
- 無菌食をはじめ、どんな病院給食オーダーにも対応できるようになった。
- 無菌環境で調乳・分注業務ができ、工程の終末滅菌までをカバーできるようになった。
- ユニットや機器のトータルな提案により、無菌対応への可能性が大きく広がった。

今回ご紹介した、どのシステム・機器に関心をお持ちですか？

《無菌製剤室/製剤室》

- コンピュータ内蔵クリーンステージ
- 安全キャビネット
- クリーンベンチ
- サーパスチーマー
- RO水製造装置/蒸留水製造装置
- サーパス自動洗浄機
- ハンドウォッシャー
- ファームウォッシャー

《無菌調乳室》

- 無菌調乳ユニット
- 無菌調理ユニット
- ターミナルスチーマー
- 冷蔵パスボックス
- ボトルクイック
- HACCP対応温度管理システム

直面されている課題(お困りな点、障害となっている点)や、将来的なご構想についてぜひご相談ください。

弊社工場見学にぜひお越しください。

- 工場見学希望 ご希望日がありましたらお聞かせください [月 (上旬・中旬・下旬) 頃]

貴社名： 御記入者名：

所属部署名： 役職名：

ご連絡先：〒

：お電話 () FAX： ()

：E-mail

ご記入ありがとうございます。

FAX : 06-6458-2393

RACCOON Report

病院・製薬・研究検査機関・化学・バイオ関連の皆様へ

信頼される 医薬ラボとは!?

オンリーワンの品質でお応えして参ります!!
本年7月、ISO9001認証を取得いたしました——

弊社のISOに対する取組みは、お客様へのさらなる信用力の向上を主眼に、昨年7月、全社員が参加したキックオフ大会から始まりました。認証取得の結果をすべてとするのではなく、取組みのプロセスそのものが社内改革へつながっていくことを全員で確認、顧客満足評価の観点で全社一丸となって、あらゆる仕組みの見直しに努めて参りました。

本年6月の予備審査を経て、新たな改善と最終的な全社見直しを繰り返し、7月14日から3日間行なわれた本審査の結果、ついにISO9001認証を取得するに至りました。この間、さまざまな形でご支援いただきました皆様に心より御礼申し上げます。

審査は予想以上に厳しいものでした。指摘いただいた観察項目には、供給会社との技術基準の在り方や、滅菌の有効性確認のしくみ等、社内での気が付きにくい観点からの改善点も明らかになり、お客様の信頼を得るためのあらゆる課題が解決できたと確信しております。また、観察項目の内、約半数は必要以上の取組みを評価していただいたGood Point項目でありましたこともご報告させていただきます。

今回の取組みを通して、生産体制の品質基準の明確化と効率化が図れたばかりでなく、キックオフ大会以来約一年間、一つの目標のもと全社員が結束し、全員が高いモチベーションをもって目標達成に至れたことが、この上ない喜びです。社内各部署では、クレームの予防・検証のためのPDCAが浸透し、引き続いて顧客満足の観点に立った業務を継続できます様、研鑽を続けております。

お陰をもちまして、見学のご依頼もたくさんいただくようになり、新たな一歩を踏み出した三田理化工業を、この機会にぜひとも皆様の眼でお確かめいただければと考えております。

今回の認証取得を契機に、これからも皆様のご要望に必ず満足していただける品質でお応えできる、お役にたてるソリューションブレンとしてご愛顧いただけます様、全社一丸となってさらに前進を続けて参ります。

平成16年8月
三田理化工業株式会社 代表取締役 千種 康一

■お客様とのコミュニケーション情報紙
ラックーン・レポート

vol.5

トビックス in RACCOON [岐阜大学医学部附属病院]

医療最前線をクリエイトする新たな実績——
柔軟な発想で新時代の先駆けを大きくサポート!!

三田理化工業株式会社

本社/〒531-0076 大阪市北区大淀中2-8-2
TEL.(06)6458-0971 FAX.(06)6458-2393
<http://www.racoon.co.jp>



FM87147 / ISO 9001:2000 / QJ00915

あらゆるリスクからの解放を目指して
安心できる空間づくりを徹底サポート!!——

本年6月、日本病院薬剤師会は、2005年度からがん専門の薬剤師認定制度をスタートさせることを発表しました。薬剤師に専門認定制度が適用されるのは初めてのことで。

同会によると、患者一人ひとりにマッチした投薬方法を、薬剤師が医師に提案できる「薬のエキスパート」として養成していきたいとのこと。この背景には、抗がん剤が次々に開発され、実際に採用されているにも関わらず、調剤に従事する薬剤師の専門的な知識や経験不足が投与ミスを生じたという報告が後を絶たないという現状があります。

この他にも、薬剤の投与ミスや医療過誤による事件・事故は残念ながら多発の一途をたどり、私達の医療全般に対する不信は膨らむ一方です。これらは、医療に従事する側の未熟さが原因と考えられるものや、いわゆるうっかりミスといった人為的な要因によるものがほとんどです。

今日の情報化社会における医療機関の在り方について、抜本的な見直しが始まっています。投薬から給食まで、院内のあらゆる医療行為と全ての患者の情報が一元管理され、院内すべての医療スタッフの眼で監視するシステムを構築することで、このような医療事故を未然に防ぐことが可能になります。本号では、安心と信頼の医療機関の先駆けとして内外に広く評価された岐阜大学医学部附属病院における弊社実績を詳しく紹介しています。

三田理化工業の先端技術と豊富なソリューション実績は、すでに機器開発の枠を越え、医療施設をはじめとする、あらゆるクリーンラボをヒューマンエラーのリスクから解放し、安心できる空間づくりをトータルでサポートさせていただけるまでに至りました。今、直面されている課題だけでなく将来的なご構想についても、皆様の幅広いご相談をお聞かせください。



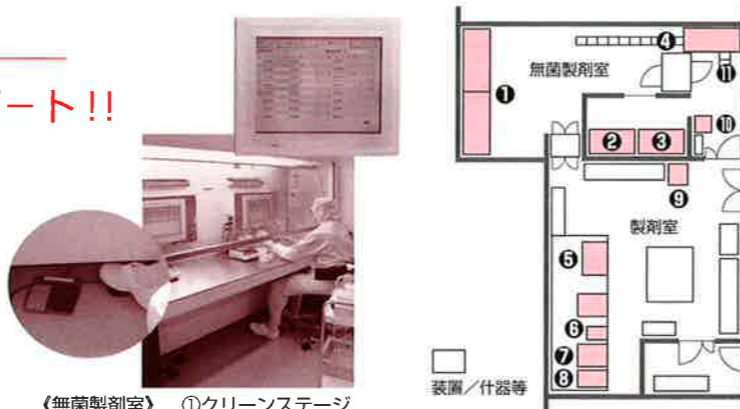
岐阜大学医学部附属病院

医療最前線をクリエイトする新たな実績——
柔軟な発想で新時代の先駆けを大きくサポート!!

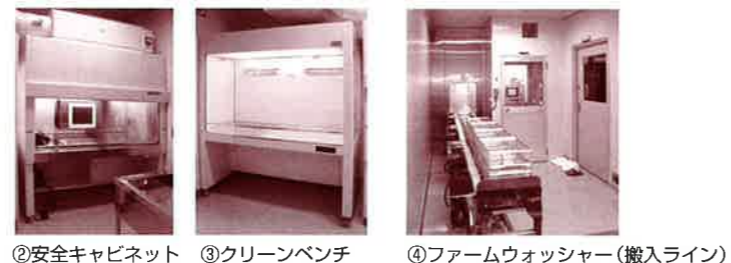
医療の現場ではあらゆる業務の安全性・信頼性を高めるため、日常の業務をいかに検証しながら管理・運用できるかが大きなテーマとなっています。さらに国立大学の附属病院等では、独立行政法人化の動きも手伝って、コストダウン、業務の効率化が改めて見直されています。

今年6月、リニューアルされた岐阜大学医学部附属病院は、最先端設備・システムの導入と人材育成により、まさに「IT化された病院」として多くのメディアでも紹介されました。

三田理化工業(株)は、同病院の無菌製剤室および無菌調乳室の開発に約5年間、計画段階から携わらせていただきました。洗浄・滅菌・充填機器の開発を通して永年培った信頼の技術と経験をもとに、先生方のご指導を受けながら、まさに医療新時代を先駆ける貴重な実績を積み重ねていただくことができました。



【無菌製剤室】 ①クリーンステージ



②安全キャビネット ③クリーンベンチ ④ファームウォッシャー(搬入ライン)



⑤定温乾燥機 ⑥サーバスチーマー ⑦RO水製造装置 ⑧蒸留水製造装置 ⑨サーバス自動洗浄機 ⑩ハンドウォッシャー ⑪ファームウォッシャー(搬出ライン)

■院内オンラインシステムの完全構築が描くビジョン——〈薬剤部様にお聞きしました〉

医師の投薬オーダーに合った適正な製剤が果たしてどれだけできているのか…。従来の手作業による製剤から電子的に検証された製剤へ移行することは必須課題でした。すでに調剤部門では、コンピュータによる検証は普及していますが、製剤室のクリーンブースにコンピュータを設置することは、さまざまな問題が多く困難とされていました。加えて、従事者の両手は薬剤の混合に使うため、コンピュータ操作はできない…。

この問題について、3つのフットスイッチ(マウスに相当)を足で操作するという画期的なシステムが、三田理化工業(株)はじめ、複数の異業種メーカー協同で開発され、これ

まであきらめられていたクリーンブース内のコンピュータ導入が実現しました。

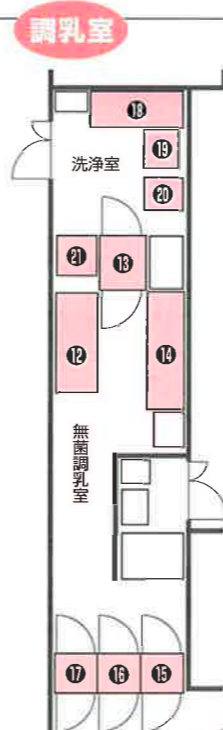
これにより、医療過誤の防止はもちろん、製剤の信頼性、安全性が飛躍的に向上したことは言うまでもありません。

もう一つの大きなメリットは、当病院の理念でもある一人ひとりの医療行為をすべて電子的に記録することが可能になったことです。安心の大きな裏付けとなる院内トレーサビリティ(履歴管理)体制が確立し、患者さんへのリアルタイムなサービスもできるようになりました。院内では業務が極めてスムーズに流れ、サービスの質も大きく向上し、大変喜んでいただいております。

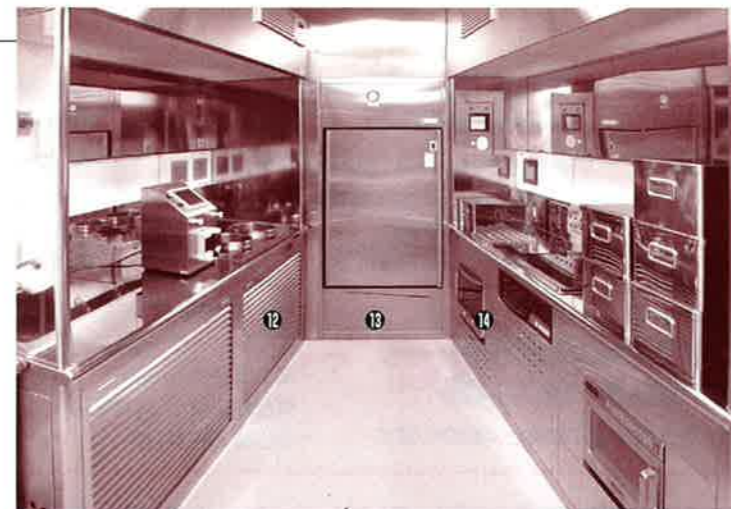
一方、注射薬の混合等、病棟の現場ではまだまだマンパワーによる薬剤の混合が行なわれているのが現実です。今回導入した薬剤部のシステムや設備の信頼性が確実に検証され、院内各部署へクリーンな環境、万全のチェックシステムとして展開できればと念願しています。

今後は、全薬品へのバーコードの表示、処方箋の電子保持等、予想される医療環境の変化に対応した、より完璧なシステム構築を目指しています。

すべての患者さんから大きな信頼を寄せられている病院として、薬の安全な供給、万全の医療体制の構築に向け、今後とも協力メーカー各社と共に歩んで参りたいと考えております。



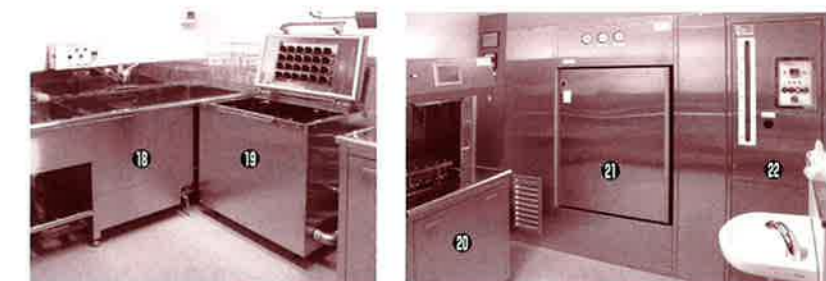
温度管理システム



【無菌調乳室】 ⑫調乳ユニット ⑬ターミナルスチーマー ⑭無菌調理ユニット



⑮サーバスチーマー ⑯ファームウォッシャー ⑰冷蔵バスボックス



⑱予浸槽 ⑲ボトルクイック ⑳サーバス自動洗浄機 ㉑ターミナルスチーマー ㉒調乳水製造装置

■これからの衛生・栄養管理のモデルシステムとして——〈田村室長にお聞きしました〉

この度の施設改善は「病院給食について、安全な食事を提供することが一切のテーマ。そのためには、適切な施設・設備、そして一切を管理するシステムが不可欠」というところから始まりました。すべての給食関連施設に対する衛生基準を的確に構成するという事です。今回、三田理化工業さんには調乳室全般の開発をお任せしました。

洗浄室の他、クリーンルームとなっている調乳室には、クラス10,000にカスタマイズされた無菌調理ユニットを設置。電子レンジ・オープンも内蔵し、無菌食等、どんなオーダーにも対応できるようにとの要望を、見事にまとめていただきました。

調乳ユニットもへパフィルターを付属し、クリーンな状態で調乳・分注できるものにカスタマイズしていただき、終末滅菌までカバーできるようになりました。旧病院設備で

従事していたスタッフ達は、なぜこのような衛生管理が必要なのか、一から三田理化工業さんのレクチャーを受け、全員がしっかり理解し納得して従事しています。

調乳室全体が当初計画より狭くなってしまい、三田理化工業さんには設計段階でご苦勞をお掛けしましたが、柔軟に対応していただき、より高密度で衛生的な遮断空間を実現することができました。

これらの充実したユニットや機器の導入により、無菌対応への可能性が大きく広がったといえます。

その他、ゾーン単位でHACCP方式の管理システムを導入。加えて温度管理システムも取り入れ、従事者と物の流れを標準化し、あらゆる作業における衛生管理を徹底。それだけでなく、保存食、タイムスタディ、水質検査、備品・衛生消耗品の払い出し(在庫)の管



栄養管理室 田村孝志室長

理に至るまで、従事者がそれぞれPDA端末に入力した情報を一括管理。データの改ざんを防止し、リアルタイムな衛生管理が可能となりました。伝票レス、手書き帳票レス等、PDAの給食現場への導入は、全国的にも例がないと聞いています。作業効率も大きく上がり、従事するスタッフにも好評です。

このように一新された業務の安定稼働の実績を積み上げながら、私達の栄養管理手法が広く理解され、活用されることを願っております。

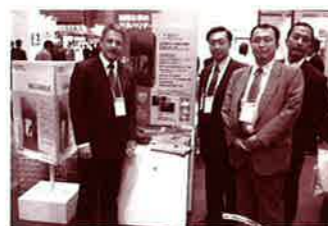
第17回インターフェックスジャパン2004



あらゆる可能性を示唆する洗浄ソリューションに、
業種を問わず大きな反響をいただきました!!



BHT社 リト・コルベッティセールスマネージャーと



第17回インターフェックスジャパン2004(主催:リードエグジビジョンジャパン(株))が、去る5月19日から21日まで、東京ビッグサイトで開催されました。台風等、悪天候にもかかわらず、弊社ブースには昨年を上回る600名以上のお客様にご来場いただきました。小さいブースながらも3日間フル回転で、大盛況のうちに幕を閉じました。せっかくお越しいただながら、充分なお話ができなかったお客様には、大変失礼をいたしました。

今年は「洗浄」をテーマに絞り込み、そのソリューションを全面

に打ち出した、今までにないブース仕様で力強い訴求をさせていただきました。

テーマを絞った展示が皆様に好評をいただき、お陰をもちまして、来場のお客様から約200件の具体的なテーマをお預かりすることができました。現在、引き続いてフォローをさせていただき中、多数のお客様から引き合いをいただいております、反響の大きさに驚いております。

受託生産、ジェネリック業界の動向が活気を呈する昨今、3日間を通して製薬業界全体のユーザーの拡がりを感じる展示会でした。

また、製薬以外にも洗浄に関する問い合わせがあり、洗浄への要求がまだまだ潜在していることを実感しました。皆様からお預かりした課題をスッキリと解決させていただきながら、最新の洗浄技術をご提供できますよう挑戦を続けて参ります。

弊社展示ブース

